

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

事業所名	F r o m j o b 東住吉
住所	大阪市東住吉区今林4丁目13-7
電話番号	06-6776-2852

事業所番号	2710802394
管理者名	林 博之
対象年度	令和5年度

(I) 労働時間	
①1日の平均労働時間が7時間以上	
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満	
⑧1日の平均労働時間が2時間未満	
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点	点

65

(II) 生産活動	
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満	
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満	
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点	点

60

(III) 多様な働き方(※)	
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	
就業規則等で定めている	
②利用者を職員として登用する制度	
就業規則等で定めている	○
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
就業規則等で定めている	○
④フレックスタイム制に係る労働条件	
就業規則等で定めている	
⑤短時間勤務に係る労働条件	
就業規則等で定めている	○
⑥時差出勤制度に係る労働条件	
就業規則等で定めている	○
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	
就業規則等で定めている	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	
就業規則等で定めている	○
小計(注1)	5 点

15

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上(※)	
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	
参加した職員が1人以上参加している	○
②研修、学会等又は学会誌等において発表	
1回以上の場合	
③視察・実習の実施又は受け入れ	
いずれか一方のみの取組を行っている	
④販路拡大の商談会等への参加	
1回以上の場合	
⑤職員の人事評価制度	
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○
⑥ピアソポーターの配置	
ピアソポーターを職員として配置している	
⑦第三者評価	
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている	
小計(注2)	2 点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

0

(V) 地域連携活動	
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○
1事例以上ある場合:10点	10 点

(VI) 経営改善計画	
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○
期限内に提出していない場合:-50点	0 点

(VII) 利用者の知識・能力向上	
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○
1事例以上ある場合:10点	10 点

期限内に提出していない場合:-50点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点



合計
160 点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績I～IV、VI）

(I) 労働時間					
前年度（5年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	29,336	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	5,590	人
		利用者の1日の平均労働時間数			
		5 時間			
(II) 生産活動					
会計期間（4月～3月）					
前々年度（3年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	31,599,351	円	利用者に支払った賃金総額	31,599,345	円
		収支			
		6 円			
前々年度（4年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	34,440,000	円	利用者に支払った賃金総額	34,439,977	円
		収支			
		23 円			
前年度（5年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	35,503,850	円	利用者に支払った賃金総額	35,503,828	円
		収支			
		22 円			
(III) 多様な働き方					
前年度（5年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受験勧奨に関する制度		②利用者を職員として登用する制度		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
④免許・資格取得、検定の受験勧奨に関する制度を定めている	<input type="checkbox"/>	⑤利用者を職員として登用する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>	在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
④フレックスタイム制に係る労働条件		⑤短時間勤務に係る労働条件		⑥時差出勤制度に係る労働条件	
⑤フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>	⑥短時間勤務に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦時差出勤制度に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
⑧有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	<input type="checkbox"/>	⑨傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>		
(IV) 支援力向上					
前年度（5年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		②研修、学会等又は学会誌等において発表		③視察・実習の実施又は受け入れ	
①研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>	②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	<input type="checkbox"/>	③先進的事業者の視察・実習の実施しているもしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input type="checkbox"/>
②外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	*研修、学会等名	実施日 月 日	*先進的事業者名	実施日/参加者数 月 日 人
※研修名 令和5年度就農支援基礎研修 研修講師 職業センター・カウンセラー等 実施日・受講者数 9月20日～9月22日 100人		※学会誌等名	掲載日 月 日	※他の事業所名	実施日/参加者数 月 日 人
④販路拡大の商談会等への参加		⑤職員の人事評価制度		⑥ピアソポーターの配置	
④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	<input type="checkbox"/>	⑤職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>	⑥ピアソポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
*商談会等名 主催者名 日時 月 日 内容		⑥当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>	⑥当該ピアソポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
		人事評価制度の制定日 令和2年 11月 1日		*配置期間 月 日～月 日	
		人事評価制度の対象職員数 7名		就業時間	
		うち昇給・昇格を行った者 1名		職務内容	
		当該人事評価制度の周知方法			
		□頭と資料での説明			
⑦第三者評価		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>	⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	<input type="checkbox"/>		
*評価を受けた日 月 日 第三者評価機関		*認証を受けた日 月 日 規格等の内容			
(VI) 経営改善計画					
⑨指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ※受理日 年 月 日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	F r o m j o b 東住吉
住所	大阪市東住吉区今林4丁目13-7
電話番号	06-6776-2852

事業所番号	2710802394
管理者名	林 博之
対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所： 株式会社UltimateLife 作業場所
 実施日程： 2018年11月から継続中
 實施した生産活動： 動作確認、清掃、梱包作業など
 利用者数： 29人

<活動の様子>



<目的>

- ・地元企業と連携を取り地域に貢献する
- ・賃金向上
- ・人材不足の解消



<成果>

作業を通して地域の一般企業への貢献ができ、提携先の方から
 利用者の作業姿勢について、高い評価を得ることができます。
 また、多くの作業を担当することで賃金アップにも繋がっています。
 今後の課題点については、作業の能率性、作業スピードの向上
 正確性について考え、更に提携先及び地域に貢献できるように
 務めています。

連携先の企業等の意見または評価

当社が運営しているECサイトショップで扱う家庭用ゲーム機等の商品に関する修理・動作確認・清掃・梱包等のあらゆる業務を依頼しています。ECサイトの運営する中で前述の業務は必須となり、正確性も求められます。また、気を使いながら時間のかかる業務ですが丁寧にその業務を担当して頂き大変助かっています。そして、当社の売上や商品の出荷期間の短縮にも大いに貢献して頂いています。業務に関わって頂いている方々は非常に真面目でコツコツ、前向きな姿勢で仕事に取り組んでおり、今後も継続してお願いしていく予定です。今後もいろいろな可能性を一緒に探っていくように協力をていきたいと考えています。

連携先企業名	株式会社UltimateLife	担当者名	リユース担当：山路
--------	------------------	------	-----------

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	F r o m j o b 東住吉
住所	大阪市東住吉区今林4丁目13-7
電話番号	06-6776-2852

事業所番号	2710802394
管理者名	林 博之
対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>	<活動の様子>
<p>【活動場所】 Fromjob東住吉</p> <p>【実施日程】 令和6年3月22日</p> <p>【実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要】 自己理解の促進と他者との関り方等</p> <p>【利用者数】 5人</p>	
<p>【目的】</p> <p>【利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい】 自身の強み・弱み等を自分で書き上げ自己理解を 進めた上で他者との関わり方を考える</p> <p>【利用者にとってのメリット】 自己理解が進むことで他者へ自分のことを伝えやすくなる</p>	
<p>【成果】</p> <p>【実施した結果】 書き上げることで自分の特性が整理ができた</p> <p>【得られた成果】 他者に自分のことを知らせるためにわかりやすく説明ができた</p> <p>【課題点】 自身の強み・弱みがわからない人への取り組み方</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことを周りの人に知らせるために 全体発表をしてもらったが自然と拍手が出たり 良い雰囲気の中で学ぶ機会となった

連携先の企業や事業所等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価
積極的に話しかける場面が増え、自信が少しついたように表情も良くなっている。
【今後の連携強化に向けた課題】
継続した取り組みを行う必要性と取り組みへの参加に消極的な人に対するアプローチについて
連携先企業（担当者） 林 博之

利用者からの意見・評価

参加した利用者からの意見・評価
<ul style="list-style-type: none"> 改めて書き出すことで自分の得意なことや苦手なことがわかつて良かった。 参加者の中で発表することで他の参加者のことを知っているようで知らないこともわかり楽しかった。 自分のことを周りの人へ伝えることの難しさがわかったのでもっと取り組みに参加したい。